

# 白石地区のイチゴ生産の概要

平成26年2月21日（金）

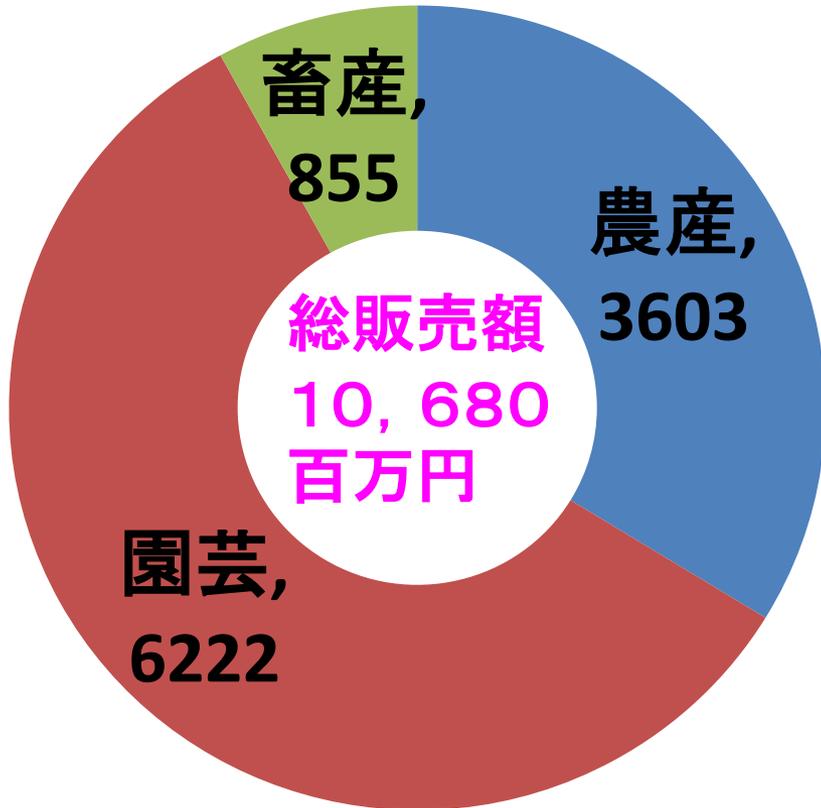
J A さが白石地区中央支所3階大研修室

説明：杵島農業改良普及センター

J A さが白石地区園芸部園芸指導課

# JAさが白石地区の概要

平成24年度の販売実績  
(JA資料、単位：百万円)



園芸上位品目の販売額(H24)

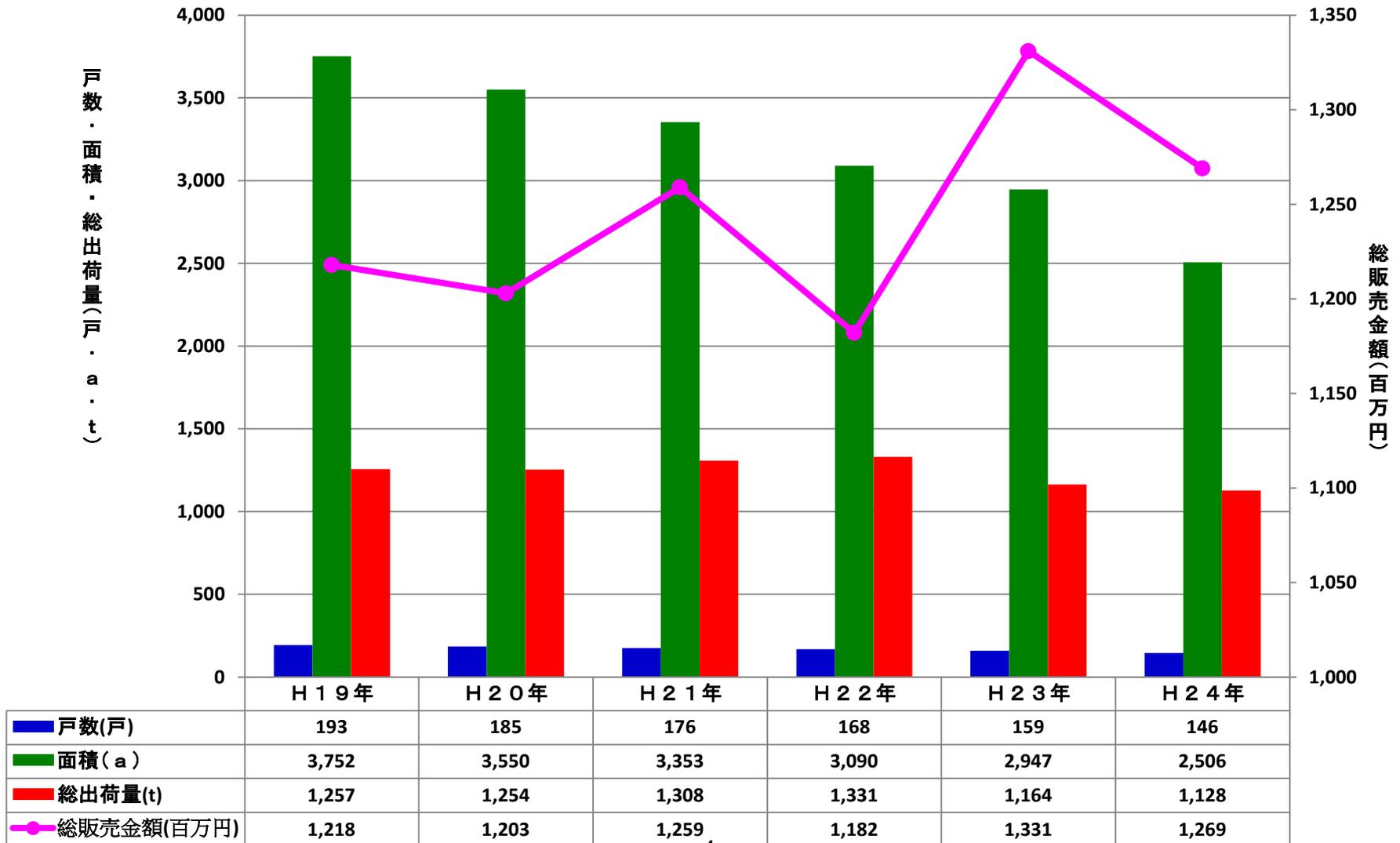
品目	販売額(百万円)
タマネギ	3,686
イチゴ	1,191
レンコン	480
アスパラガス	317
キャベツ	154
キュウリ	121
レタス	89
小ネギ	78
その他	106

# いちご部会の歩み

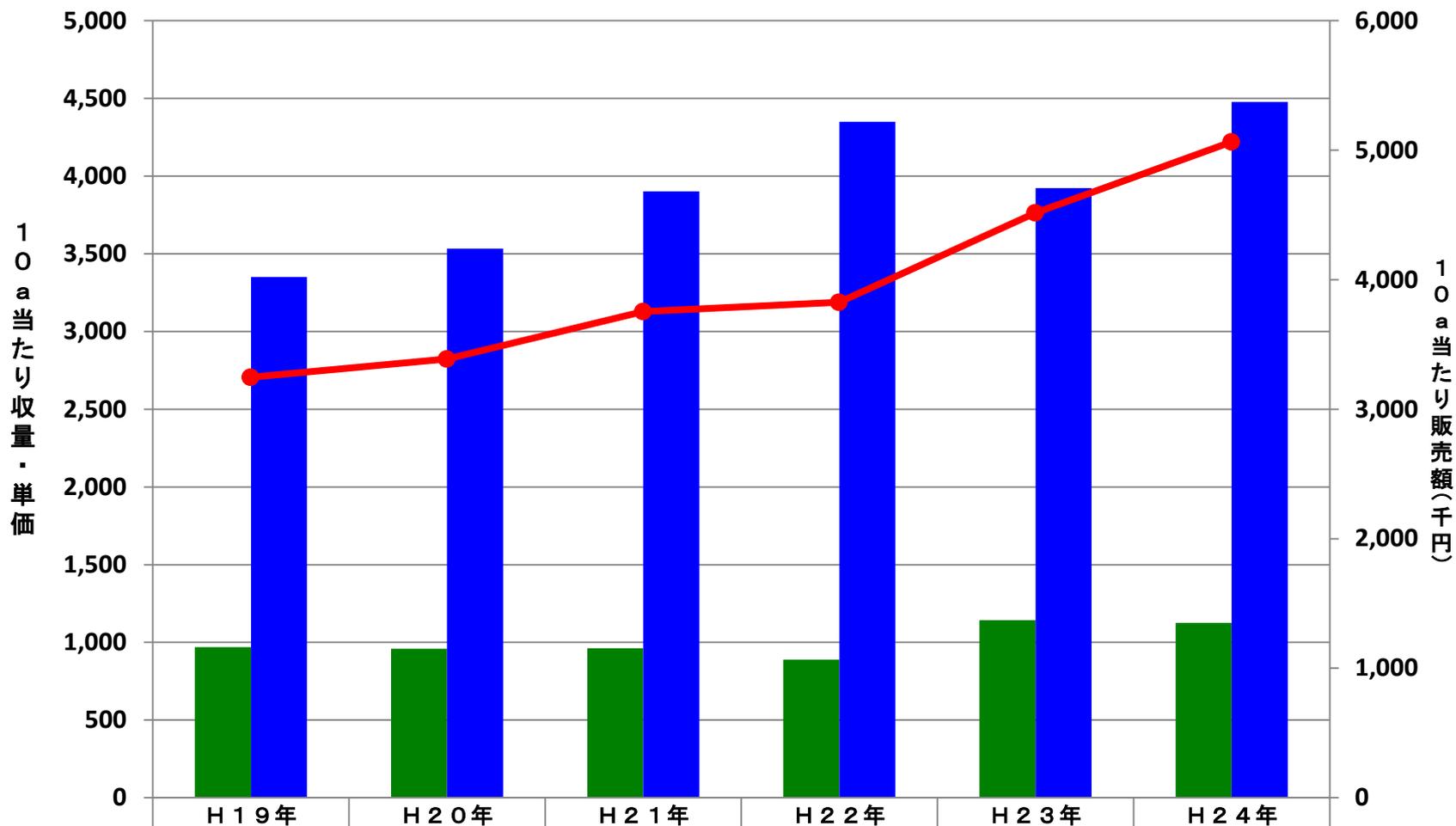
年度	内 容
S43年	白石町内の2戸の農家でイチゴ導入(品種:ダナー)
S48年	白石地区農協イチゴ部会結成(53戸)
S55年	ポット育苗の普及拡大
S56年	販売高5億円突破
S59年	品種「とよのか」全支所へ導入
S62年	販売高10億円突破
H 1年	当日収穫出荷開始
H 7年	販売高23億円突破
H11年	品種「さがほのか」導入開始
H13年	棚式ベンチ育苗普及
H21年	いちごパッケージセンター稼働開始
H23年	いちご次世代品種試験開始、省エネ設備導入
H25年	いちご部会設立40周年記念



# いちご部会の総出荷量・販売額(H19~24年)



# いちご部会の10a当り収量・販売額(H19~24年)



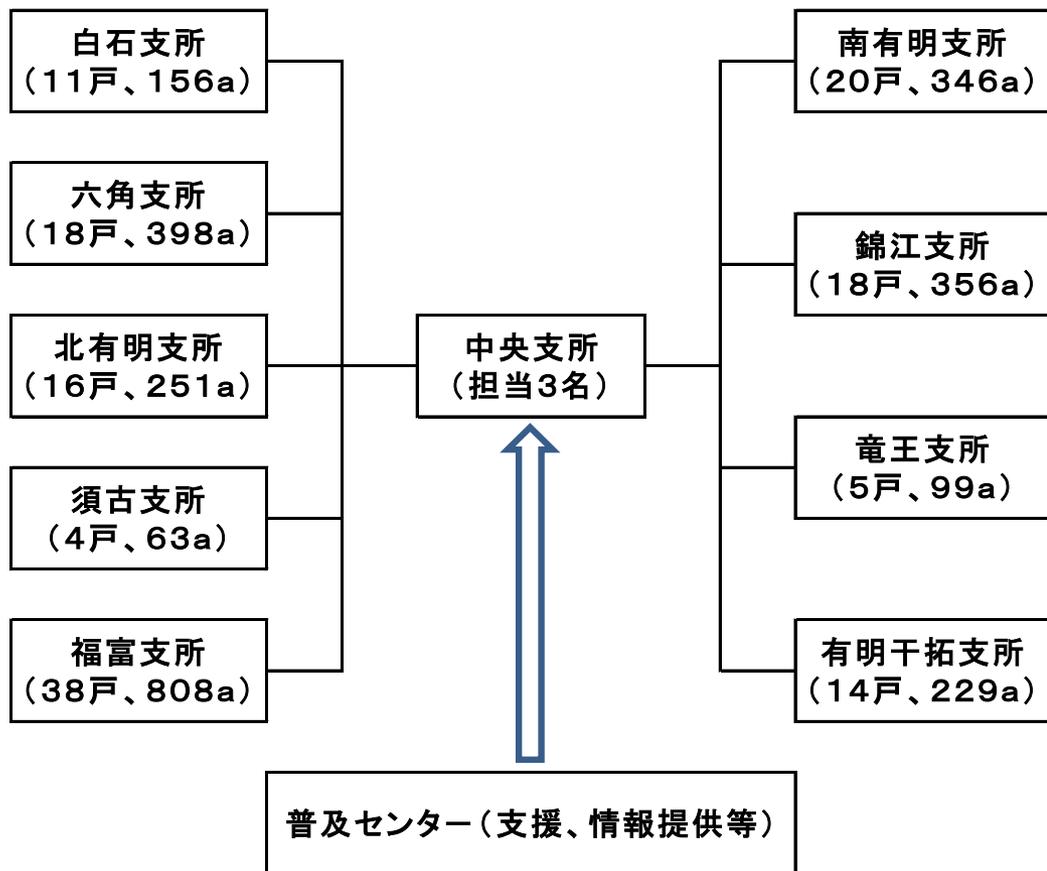
■ 単価(円/kg)	969	959	963	888	1,143	1,125
■ 10a当り収量	3,350	3,532	3,901	4,349	3,923	4,477
● 10a当り販売額(千円)	3,246	3,389	3,755	3,825	4,516	5,064

# いちご部会の活動計画（総会資料より抜粋）

- 1 栽培技術の高位平準化と生産数量の拡大
- 2 計画出荷と消費者からの信頼を高める商品づくり
- 3 農薬安全使用の徹底、低コスト栽培の確立  
栽培履歴記帳とGAP記帳の励行
- 4 生産者同士の融和と若手・女性部の活動強化
- 5 パッケージセンターの有効利用

# JAさが白石地区の指導体制

## ○指導体制



## ○指導の徹底

- ① 圃場で生育状況等の確認  
↓
- ② 農家へ栽培管理の指導  
（圃場に農家あり）  
（不在の場合）  
↘
- ③ 自宅へ出向き指導  
（在宅の場合）  
（不在の場合）  
↘
- ④ 指導事項をメモし書き置きする（電話による確認）

※指導は農家が行動を起こすまでを基本に行われている

# 不耕起栽培の導入

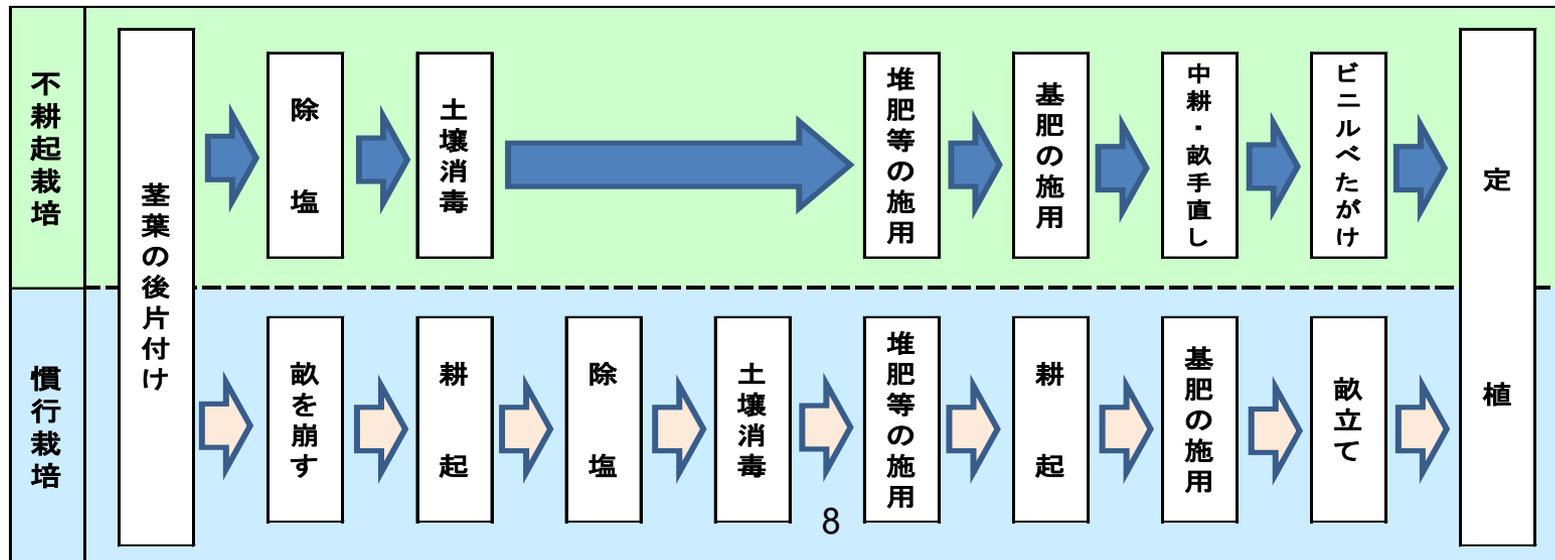
## ○導入状況

H21年産: **898a** →→→ H25年産: **1420a** (全面積の52%)

## ○導入の背景

- ①適期定植の励行 …… 低地帯のため冠水しやすい
- ②定植後の活着促進 …… 土塊が大きくなりやすい(土壤水分)
- ③圃場排水性の改善 …… 畝間・谷の排水性(粘土質)、作業性
- ④作業労力の軽減 …… 作業時間の短縮・作業内容の軽労化

## ○不耕起栽培の作業手順(例)



# 光合成促進装置の導入

## ○導入状況

H21年産：**20戸** →→→ H25年産：**37戸**（**全面積の26%**）

## ○導入の効果（坪当たりパック数）

	H20年産 （導入前）	H24年産 （導入後）	増加量 （H24－H20）	増加率 （H24／H20）
導入農家平均（16戸）	45.1	60.5	<b>15.4</b>	<b>134%</b>
いちご部会平均	41.0	52.3	11.3	127%

## ○施用方法の改善（現在）

**早朝施用から日中施用へ変更**

（日中施用）

日出1～2時間後より稼働開始

1時間当たり15分程度で施用

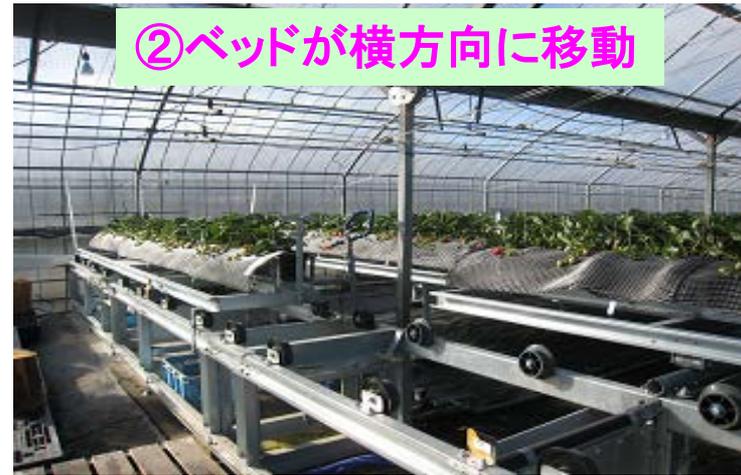
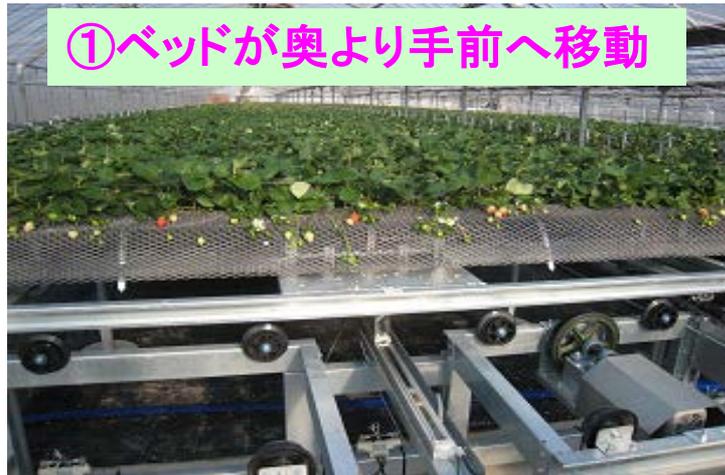
（タイマー式の場合）



# 移動式高設栽培の実証

## ○実証試験

- ・装置名 イチゴ高密植移動栽培装置(県内3ヶ所目)
- ・試験開始 平成25年産(面積 5a)



# いちご次世代品種緊急開発プロジェクト

## ○二次選抜試験

200株から10株に選抜(白石・唐津地区の2ヶ所)

## ○現地適応性試験

10株から1株に選抜(全普及センター管内)

二次選抜試験(200系統)

現地適応性試験(13系統)



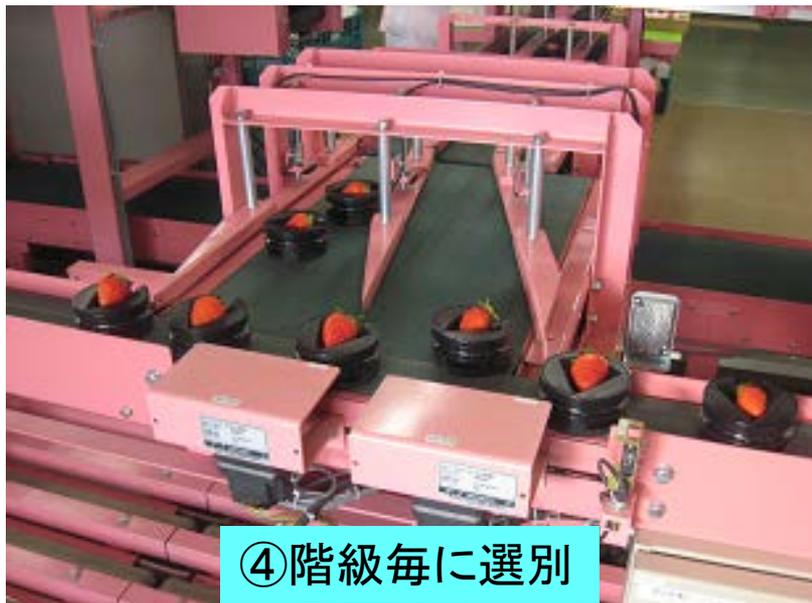
# いちご集荷・販売体制

## ○パッケージセンター設立までの活動

年・月	会議等の開催	主な内容
H18年 1月	白石いちご再生に向けた意向調査	
H19年 9月	パッケージセンター設立に関するアンケート調査	・PCの利用希望
H20年 8月	<b>いちごパッケージセンター運用準備委員会</b>	
H20年12月	・意向調査結果報告 ・整備運用について	・集出荷取扱要領について ・管理運用要領について ・利用料金について ・利用申込について
H21年 1月		
H21年 2月	いちご部会全体会	
H21年 3月	<b>いちごパッケージセンター運用準備委員会</b>	
H21年 4月	・利用料試算について	・運用協議会規約について
H21年 6月	・加入同意書とりまとめ結果について	・集出荷取扱要領について 等
H21年 7月	<b>いちごパッケージセンター運用協議会全体会</b>	・規約・役員承認
適時	<b>いちごパッケージセンター運用準備委員会</b>	
H21年12月	<b>いちごパッケージセンター運用協議会全体会</b>	・利用集計、利用料金
H22年 1月	<b>いちごパッケージセンター稼働開始</b>	

以後、適宜運営協議会を開催→→→H25年8月運営協議会を解散しいちご部会で運営

# パッケージセンターの作業工程①



# パッケージセンターの作業工程②



# 安全・安心ないちごづくり

- 1 農薬の安全使用の徹底
- 2 栽培履歴の記帳
- 3 GAP(農業生産工程管理)の記帳

# 今後の展開

- 1 収 量 5,000kg／10a以上
- 2 単 価 1,100円／kg以上
- 3 販売額 6百万円／10a以上

- ・既存技術の改善
- ・新技術の導入
- ・新品種の導入

- ・新規農家の増加
- ・既存農家の規模拡大
- ・高設栽培面積の拡大

- ・総出荷量の増大
- ・価格形成力の強化

- ・補助事業等の活用
- ・パッケージセンターの有効活用

産地の強化・拡大